

名桜大学大学院国際文化研究科国際地域文化専攻（博士後期課程）規程

（令和元年10月23日制定）

（趣旨）

第1条 この規程は、名桜大学大学院学則（平成13年4月1日制定。以下「学則」という。）第4条第2項の規定に基づき、国際文化研究科国際地域文化専攻（博士後期課程）に関し必要な事項を定めるものとする。

（専攻）

第2条 国際文化研究科国際地域文化専攻（博士後期課程）（以下「研究科（博士後期課程）」という。）を置く。

（授業科目及び単位数）

第3条 研究科（博士後期課程）における授業科目及び単位数は、別表1のとおりとする。

（指導教員及び副指導教員）

第4条 学生の研究及び論文指導（以下「研究指導」という。）のため、指導教員及び副指導教員を置く。

2 指導教員は、研究指導を行う専任の教授をもって充てる。

3 指導教員は、学生が取り組む研究と論文作成の実施を指導し、学生の授業科目の履修等に適切な助言を行う。

4 副指導教員は、指導教員を補佐する専任の教授2名をもって充てる。

5 副指導教員は、指導教員を補佐し、より多角的な視野から学生の研究と論文作成の助言と支援を行う。

6 学生は、入学後所定の期日までに指導教員を定め、研究科長（博士後期課程）に届け出なければならない（別紙様式第1号）。

7 指導教員の変更は、原則として認めない。ただし、特別の事情が生じた場合に限り、名桜大学大学院国際文化研究科国際地域文化専攻博士後期課程委員会（以下「博士後期課程委員会」という。）の議を経て変更を認めることができる（別紙様式第2号）。

（教育方法の特例）

第5条 研究科（博士後期課程）における授業及び研究指導は、博士後期課程委員会が教育上特に必要があると認める場合に限り、別に指定する特定の時間又は時期に行うことができる。

（履修方法）

第6条 学生は、入学した年度の最初の履修登録時に、研究するテーマを決定しなければならない。

2 履修に当たっては、第3条別表1により共通科目（必修2科目4単位）、専門科目（選択2科目4単位以上）、研究指導科目（必修6科目12単位）から合計10科目以上履修し、20単位以上修得しなければならない。

(科目履修手続)

第7条 学生は、各学期の初めに履修しようとする授業科目を所定の様式により研究科長（博士後期課程）に届けなければならない。

- 2 研究指導科目は、1年次及び2年次並びに3年次の学期始めに登録するものとする。
- 3 1年次における履修科目及び修得単位は、共通科目1科目2単位と専門科目2科目4単位以上、研究指導科目2科目4単位、計5科目10単位以上を修得目標とする。
- 4 休業期間等に臨時に開設される科目の履修については、そのつど科目の登録を行うものとする。
- 5 学生は、指導教員の履修指導のもとに科目の登録及び履修を行うものとする。

(他の大学院における授業科目の履修等)

第8条 学長は、指導教員が必要と認めるときは、学則第35条に定めるところにより、他の大学院の授業科目を履修させることができる。

- 2 前項により修得した単位は、4単位を超えない範囲で第6条第2項の専門科目の履修とみなして修了に必要な単位として取り扱う。

(単位の認定)

第9条 各授業科目の単位修得の認定は、試験又は研究報告書により担当教員が行う。

- 2 病気その他のやむを得ない理由により、試験を受けることができなかった者については、追試験を行うことができる。
- 3 追試験の時期は別に定める。
- 4 試験を受けて不合格になった者についての再試験は行わない。

(成績の評価)

第10条 試験又は研究報告書の成績評価は、優、良、可、不可とし、優、良、可を合格とする。

(博士論文の提出)

第11条 博士論文に関する日程は、次の表に掲げるとおりとする。なお、学生が研究計画書、学位請求論文作成計画書、学位請求論文執筆計画書及び学位請求論文概要並びに学位請求論文提出資格取得申請書を研究科長（博士後期課程）に提出する場合は、指導教員の承認を得るものとする（別紙様式第3号、4号、5号及び6号並びに7号）。

事 項	時 期
研究指導教員届の提出	1年次前学期開始から2週間
研究計画書の提出	1年次前学期開始から2週間
第1回中間発表	1年次2月第4週目
倫理審査申請（該当者のみ）	第1回中間発表後
学位請求論文作成計画書の提出	2年次前学期開始から2週間
第2回中間発表	2年次2月第4週目
学会等での発表又は学術誌等での掲載の確認	第2回中間発表後から2年次3月4週まで
学位請求論文執筆計画書の提出	3年次前学期開始から2週間

学位請求論文概要の提出	3年次6月第2週から6月第3週まで
博士論文事前審査に係る書類提出	3年次6月第2週から6月第3週まで
学位請求論文提出資格の決定	3年次6月第3週から6月第4週まで
博士論文事前審査	3年次7月第1週
学位請求論文の提出	3年次9月第4週から10月第1週まで
博士論文本審査に係る書類提出	3年次9月第4週から10月第1週まで
博士論文審査及び最終試験	3年次1月第2週目

2 学位請求論文は、学位請求論文提出資格を承認された学生のみ提出することができる。

3 博士論文審査及び最終試験は、事前審査会において、以下の要件を満たした者、又は満たす見込みの者について行う。

(1) 共通科目（必修）の2科目4単位、専門科目（選択科目）から2科目4単位以上、研究指導科目（必修）の6科目12単位、合計10科目20単位以上を取得済み（又は見込み）であること。

(2) 博士後期課程在籍中に、博士後期課程第1回及び第2回中間発表会で発表していること。

(3) 博士後期課程在籍中に、提出する博士学位論文に関する論文が1編以上あること。ただし、対象となる論文は、日本語又は外国語で作成され、査読付き学術誌に掲載又は受理されたものとする。なお、博士後期課程入学以前に発表された他の学位論文に関する論文とされていない、博士論文を申請するに足る専門研究論文または著書等も可とする。

4 学位申請手続要領については、別に定める。

(修了要件)

第12条 研究科（博士後期課程）の修了要件は、博士後期課程に3年以上在学し、研究科（博士後期課程）所定の科目を履修し、20単位以上修得、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

(補則)

第13条 この規程に定めるもののほか、研究科（博士後期課程）に関し必要な事項は、博士後期課程委員会の議を経て研究科長（博士後期課程）が別に定める。

(改廃)

第14条 この規定の改廃は、大学院委員会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、令和元年10月23日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

別表 1 (第 3 条関係)

授業科目及び単位数

科目区分	授 業 科 目 名	配当 年次	単 位 数		講義・演習	備 考
			必修	選択		
共通 科目	国際地域文化総合演習 I	1	2		演習	
	国際地域文化総合演習 II	2	2		演習	
専 門 科 目	琉球・沖縄文化特論	1・2		2	講義	
	琉球文学特論	1・2		2	講義	
	南島民俗文化特論	1・2		2	講義	
	中国琉球関係史特論	1・2		2	講義	
	アメリカ環境文学特論	1・2		2	講義	
	中南米地域文化特論	1・2		2	講義	
	東アジア地域文化特論	1・2		2	講義	
	東南アジア地域文化特論	1・2		2	講義	
	言語学特論	1・2		2	講義	
	英語教育特論	1・2		2	講義	
	現代沖縄教育特論	1・2		2	講義	
	アジア太平洋国際関係特論	1・2		2	講義	
研 究 指 導 科 目	特別演習 I	1	2		演習	
	特別演習 II	1	2		演習	
	特別演習 III	2	2		演習	
	特別演習 IV	2	2		演習	
	特別演習 V	3	2		演習	
	特別演習 VI	3	2		演習	

様式1号（第4条関係）

指導教員届

年 月 日

名城大学大学院

国際文化研究科長（博士後期課程） 殿

国際文化研究科 国際地域文化専攻（博士後期課程）

学生番号

氏 名

印

指導教員を下記のとおり届け出ます。

記

研究 題 目	
指導 教 員	印

注 指導教員の承認を得て、入学年度の所定の期日までに研究科長（博士後期課程）に届けなければならない。

様式第3号（第11条関係）

研究計画書

年 月 日

名桜大学大学院

国際文化研究科長（博士後期課程） 殿

国際文化研究科 国際地域文化専攻（博士後期課程）

学 生 番 号 :

氏 名 : 印

指 導 教 員 : 印

研究計画書を下記及び別紙1・2（様式第3号関係）のとおり届け出ます。

記

1. 研究タイトル

2. 研究計画書の概要（200字程度）

3. 研究計画書（別紙1・2に具体的に記載してください。ワープロ可・2,000字程度）
 - 1) 研究テーマ（研究の背景・課題意識等）
 - 2) 研究内容・研究計画（研究方法・研究の進め方、スケジュール概略等）
 - 3) 研究成果の公開について

別紙1 (様式第3号関係)

年 月 日

学生番号：

氏 名：

研究計画書

- 1) 研究テーマ (研究の背景・課題意識等)

別紙1 (様式第3号関係)

年 月 日

学生番号：

氏 名：

研究計画書

2) 研究内容・研究計画 (研究方法・研究の進め方、スケジュール概略等)

3) 研究成果の公開について

様式第4号（第11条関係）

学位請求論文作成計画書

年 月 日

名城大学大学院

国際文化研究科長（博士後期課程） 殿

国際文化研究科 国際地域文化専攻（博士後期課程）

学 生 番 号 :

氏 名 : 印

指 導 教 員 : 印

学位請求論文作成計画書を別紙1（様式第4号関係）のとおり届け出ます。

学位請求論文作成計画書

(フリガナ) 氏名		所属研究科	
		年次	
指導教員氏名	(自署) 印	学生番号	

【研究テーマ】

1. 現在までの研究状況

図表を含めてもよいのでわかりやすく記述してください。様式改変・追加は不可(以下同様)

①これまでの研究の背景、課題、課題の克服方法、研究目的、特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げて記述してください。

②これまでの研究経過及び得られた結果について、課題を含め①で記載したことと関連づけて説明してください。なお、これまでの研究成果を論文あるいは学会等で発表している場合には担当した部分を明らかにして、それらの内容を記述してください。

【これまでの研究の背景・課題・課題の克服方法・特色と独創的な点】

【これまでの研究経過および得られた研究成果】

2. これからの研究計画

(1) 研究の背景

「1」で述べた研究状況を踏まえ、これからの研究計画の背景、課題、課題の克服方法、着想に至った経緯等について参考文献を挙げて記入してください。

【これからの研究計画の背景と課題】

【着想に至った経緯と課題の克服方法】

(2) 研究目的・内容(図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。)

- ① 研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。
- ③ 共同研究の場合には、担当する部分を明らかにしてください。
- ④ 研究計画の期間中に異なった研究機関(外国の研究機関等を含む)において研究に従事することを予定している場合にはその旨を記載してください。

【研究目的】

【研究方法と内容】

(3) 研究の特色・独創的な点

次の項目について記載してください。

- ① これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、
独創的な点
- ② 国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義
- ③ 本研究が完成したとき予想される学術的貢献及び将来の見通し

【本研究の特色、着眼点、独創的な点】

【国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義】

【本研究が完成したとき予想される学術的貢献及び将来の見通し】

(4) 研究倫理(人権の保護及び法令等の遵守)への対応

様式第5号（第11条関係）

学位請求論文執筆計画書

年 月 日

名城大学大学院

国際文化研究科長（博士後期課程） 殿

国際文化研究科 国際地域文化専攻（博士後期課程）

学 生 番 号 :

氏 名 : 印

指 導 教 員 : 印

学位請求論文執筆計画書を別紙1（様式第5号関係）のとおり届け出ます。

学位請求論文執筆計画書

(フリガナ) 氏名		所属研究科	
		回生	
指導教員氏名	(自署) 印	学生番号	

【研究テーマ】

1. 現在までの研究状況

図表を含めてもよいのでわかりやすく記述してください。様式改変・追加は不可(以下同様)

①これまでの研究の背景、課題、課題の克服方法、研究目的、特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げて記述してください。

②これまでの研究経過及び得られた結果について、課題を含め①で記載したことと関連づけて説明してください。なお、これまでの研究成果を論文あるいは学会等で発表している場合には担当した部分を明らかにして、それらの内容を記述してください。

【これまでの研究の背景・課題・課題の克服方法・特色と独創的な点】

【これまでの研究経過および得られた研究成果】

2. これからの研究計画

(1) 研究の背景

「1」で述べた研究状況を踏まえ、これからの研究計画の背景、課題、課題の克服方法、着想に至った経緯等について参考文献を挙げて記入してください。

【これからの研究計画の背景と課題】

【着想に至った経緯と課題の克服方法】

(2) 研究目的・内容(図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。)

- ① 研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。
- ③ 共同研究の場合には、担当する部分を明らかにしてください。
- ④ 研究計画の期間中に異なった研究機関(外国の研究機関等を含む)において研究に従事することを予定している場合にはその旨を記載してください。

【研究目的】

【論文の基本構成】

【研究内容】

【研究の進捗状況と今後の見通し】

(3) 研究の特色・独創的な点

次の項目について記載してください。

- ① これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、
独創的な点
- ② 国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義
- ③ 本研究が完成したとき予想される学術的貢献及び将来の見通し

【本研究の特色、着眼点、独創的な点】

【国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義】

【本研究が完成したとき予想される学術的貢献及び将来の見通し】

(4) 研究倫理(人権の保護及び法令等の遵守)への対応

様式第6号（第11条関係）

学位請求論文概要

年 月 日

名城大学大学院

国際文化研究科長（博士後期課程） 殿

国際文化研究科 国際地域文化専攻（博士後期課程）

学 生 番 号 :

氏 名 : 印

指 導 教 員 : 印

学位請求論文概要を別紙（自由様式・様式第6号関係）のとおり届け出ます。

様式第7号（第11条関係）

学位請求論文提出資格取得申請書

年 月 日

名城大学大学院

国際文化研究科長（博士後期課程） 殿

国際文化研究科 国際地域文化専攻（博士後期課程）

学 生 番 号 :

氏 名 : 印

指 導 教 員 : 印

学位請求論文提出資格取得申請書を別紙1（様式第7号関係）のとおり届け出ます。

別紙 1 (様式第 7 号関係)

学 生 番 号 氏 名		提出日	
		年 月 日	
指 導 教 員 氏 名	印	在 学 年 次 ま た は 単 位 修 得 退 学 年 月 日	年 次
副 指 導 教 員 氏 名	印		年 月 日
	印		単 位 修 得 退 学
研究業績 (博士論文と直接関わらないものも含め、網羅的に記載すること)			

主論文名

論文の要旨